



Information

2018.10

Vol. 81

日本気象協会の最新事業のご紹介

Contents1

日本気象協会が開発した「電力需要予測システム」が大手電力で運用開始
～気象会社による大手電力向けの電力需要予測システム導入は日本初～

Contents2

トレタ・損保ジャパン・日本気象協会が飲食店のスマート経営を支援
～Society5.0の超スマート社会実現に向け3社で実証実験を開始～

Contents3

世界初の実用型「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ MP-PAWR(エムピーパー)」を用いた
実証実験の開始について

Contents4

ルワンダ共和国にて
日本の中小企業が実施する環境計測ソーシャルビジネス展開を支援

Contents5

名古屋工業大学ソーラーカー部を日射量推定・予測情報で支援
～「ソーラーカーレース鈴鹿2018」OLYMPIAクラスで優勝！～

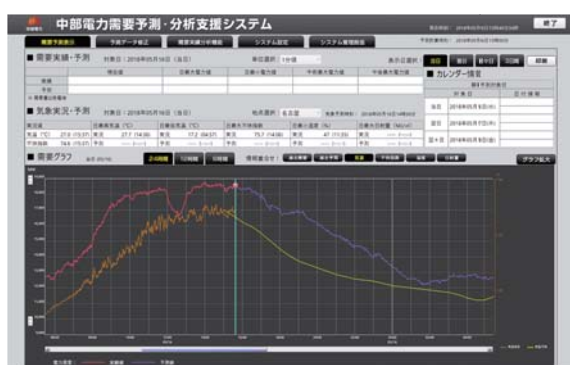


三重県鈴鹿市 鈴鹿サーキット

日本気象協会が開発した「電力需要予測システム」が大手電力で運用開始 ～気象会社による大手電力向けの電力需要予測システム導入は日本初～

日本気象協会が開発した「電力需要予測システム」が、2018年4月から中部電力の需給運用の現場(中央給電指令所)にて運用を開始しました。大手電力向けの電力需要予測システムの本格的な導入は、気象会社としては日本初の取り組みです(日本気象協会調べ)。

この電力需要予測システムは、中部地方の気象特性を熟知した日本気象協会の気象予報士のノウハウと、AI・機械学



【電力需要予測システムの画面イメージ】

習の解析技術を組み合わせることにより、高い予測精度(平日の予測誤差1%台)を実現しました。本システムの導入によって、従来の需要予測にかかる作業時間を削減することが可能となり、効率的な需給運用に役立てられています。

2018年8月に公開された「中部電力技術開発ニュース159号」では、「電力需要予測システムの導入～電力需要予測業務の自動化、精度の向上に向けた取り組み～」として、本システムの概要と予測精度の評価結果が紹介されました。

日本気象協会は、気象情報の提供から需要予測システムの構築・運用までを、「気象のプロフェッショナル」としてワンストップで実施しています。今後、電力需要予測システムの運用により得られた知見を需要予測ロジックに反映することで、さらなる予測精度向上に取り組んでいきます。



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2018/09/post-001072.html>

トレタ・損保ジャパン・日本気象協会が飲食店のスマート経営を支援 ～Society5.0の超スマート社会実現に向け3社で実証実験を開始～

株式会社トレタ、損害保険ジャパン日本興亜株式会社および日本気象協会の3社は、外食産業の「フードロス問題」の解決を目指して、飲食店の生産性改善を実現するスマート経営に向けた実証実験を2018年9月から開始しました。

本実証実験では、飲食店のジャンルごとに、固有の特徴を反映させた店舗の来店客数予測サービスを構築し、実証実験で得られたデータを使用してその予測精度を向上させることを目的とします。

実証実験に伴い、3社は共同で外食産業における需要予測モデルによる生産性改善の有効性を検証するため、8月20日から実証実験のパートナー企業を募集しています。

今回の実証実験で飲食店の需要予測が実現することにより、適正な仕入れによるフードロス問題の解決や適切な人員配置が可能となり、外食産業の生産性向上および働き方改革に寄与することを目指します。

飲食店の生産性改善を実現するスマート経営に向けた実証実験



このサービス・商品に関する詳細につきましては、下記、ホームページまで。

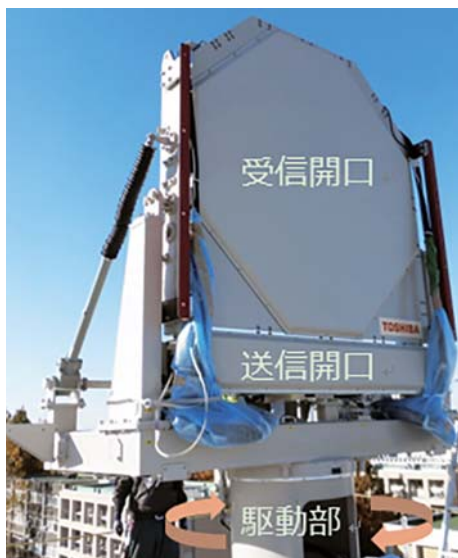
<https://www.jwa.or.jp/news/2018/08/post-001055.html>

Contents3

2018.07.19発表

世界初の実用型「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ MP-PAWR(エムピーパー)」を用いた 実証実験の開始について

内閣府のSIP「レジリエントな防災・減災機能の強化」の施策として、国立研究開発法人情報通信研究機構をはじめとする研究グループは、昨年度開発した世界初の実用型「マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ(MP-PAWR)」を用いた実証実験のための観測を7月初めから開始しました。



マルチパラメータ・フェーズドアレイ気象レーダ(MP-PAWR)

MP-PAWRは、30秒から1分で雨雲の高速三次元観測が可能なフェーズドアレイ気象レーダ(PAWR)と雨量を高精度で計測できるマルチパラメータ(二重偏波)レーダの機能をあわせもった気象レーダで、急激に発達する積乱雲による豪雨から国民の安全を守るとともに、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会など特に夏季に開催される競技の運営にも役立つ技術です。研究グループは、MP-PAWRを活用して最大30分先のゲリラ豪雨を予測し、市民や自治体等へ予測情報を伝達する実証実験を開始しました。

【研究グループ】

- 国立研究開発法人情報通信研究機構(理事長: 徳田 英幸)
- 公立大学法人首都大学東京(理事長: 島田 晴雄)
- 東芝インフラシステムズ株式会社(代表取締役社長: 秋葉 慎一郎)
- 国立大学法人名古屋大学(総長: 松尾 清一)
- 国立研究開発法人防災科学技術研究所(理事長: 林 春男)
- 一般財団法人 日本気象協会(会長: 石川 裕己)
- 国立大学法人埼玉大学(学長: 山口 宏樹)



この内容に関する詳細につきましては、
下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2018/07/post-001046.html>

Contents4

2018.07.04発表

ルワンダ共和国にて日本の中小企業が実施する環境計測 ソーシャルビジネス展開を支援

日本気象協会は2018年5月15日(火)、経済産業省 東北経済産業局が公募した委託事業(平成30年度「地域中核企業創出・支援事業」)に採択されました。

【経済産業省 東北経済産業局に採択された事業内容】

・「アフリカのルワンダ共和国をゲートウェイとした市民・行政による環境計測ソーシャルビジネス」

http://www.tohoku.meti.go.jp/s_sanicle/topics/180515.html

本事業では、日本気象協会が事業管理機関となり、特有の技術を保有する中小企業の事業展開を支援します。日本の中小企業の技術により、ルワンダ共和国が抱えるPM2.5等の大気汚染への対応に貢献することを目指します。



この事業に関する詳細につきましては、
下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2018/07/post-001043.html>

【日本気象協会からルワンダ共和国へ派遣するコンサルタント】



金 混呈(キム ミンチョン) / (写真左)

- 所属: 本社 事業統括部 海外事業推進課
- 専門のコンサルティング分野: 文化・社会面から見た環境問題

Akampumuza Precious(アカムプムザ プレシャス) / (写真中央)

- 所属: 本社 事業統括部 海外事業推進課
 - 専門のコンサルティング分野: 気候変動に関わるサステナビリティサイエンス
- ※経済産業省「国際化促進インターンシップ事業」にて
JWA及びWHO(ルワンダ)のインターンを経験

依田 隆志 / (写真右)

- 所属: 本社 環境・エネルギー事業部 環境解析課
- 専門のコンサルティング分野: 大気汚染(PM2.5)



名古屋工業大学ソーラーカー部を日射量推定・予測情報で支援 ～「ソーラーカーレース鈴鹿2018」OLYMPIAクラスで優勝！～

日本気象協会が支援している名古屋工業大学ソーラーカー部は、「FIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース鈴鹿2018」のOLYMPIAクラスで優勝しました。

「FIA Electric & New Energy Championship ソーラーカーレース鈴鹿2018」は、2018年8月3日(金)・4日(土)に鈴鹿サーキット(三重県鈴鹿市)で行われた国内最高峰のソーラーカーレースの大会です。名古屋工業大学ソーラーカー部は、本大会の5時間耐久レースに出場し、同部として本大会過去最高となるOLYMPIAクラス優勝、総合3位を獲得されました。日本気象協会は、レースの戦略・走行計画策定のため、2018年6月から支援を開始し、独自の日射量推定・予測情報を提供しています。



5時間耐久レースで走行する名古屋工業大学ソーラーカー部「Horizon Z」



日本気象協会 ソーラーカーレース支援チーム

ソーラーカーは、太陽エネルギーのみで走る、いわば「究極のエコカー」です。しかし、天候の変化に伴って日射量が変動するため、車体を受けるエネルギー量は一定ではありません。したがって、ソーラーカーレースには細やかな走行計画・戦略策定が必要となります。名古屋工業大学ソーラーカー部は、日本気象協会の日射量推定・予測情報をソーラーカーレースに活用することにより、天候や時間帯別の気象条件も織り込んだレースマネジメントが可能となりました。



この内容に関する詳細につきましては、
下記、ホームページまで。

<https://www.jwa.or.jp/news/2018/08/post-001053.html>

トピックス

2018.07.23発表

日本気象協会「tenki.jp登山天気」で人気の山を新たに52山追加 ～400山の天気をチェックして、夏山シーズンをもっと満喫！～

日本気象協会は、2018年7月23日(月)から登山者向け有償スマートフォンアプリ「tenki.jp登山天気」に阿寒富士や弥山を含む人気の山を新たに52山追加掲載しました。追加により、計400山の情報が公開されました。

本格的な夏山シーズンを迎え、「tenki.jp登山天気」が更にパワーアップしました。当日の予報だけでなく、計画を立てるときや準備をするときにもお役立てください。

「tenki.jp登山天気」は、日本三百名山を対象に、麓(ふもと)から山頂までの登山ルート沿いの天気予報や雷危険度などをひと目で確認できる、登山者のためのアプリとして2017年4月にリリースしました。リリース後も対象の山を増やし続け、このたび計400山の情報が公開されます。

「tenki.jp登山天気」では登山愛好者に馴染みの深い週間天気図、高層天気図に加え、日の出・日の入りの時間や登山服装指数、紫外線情報も確認することができ、山の気象変化を把握して安全に登山を行うことに役立てていただくことを目的としています。



一般財団法人 日本気象協会



<https://www.jwa.or.jp>
<https://tenki.jp>

本社 〒170-6055 東京都豊島区東池袋3丁目1番1号サンシャイン60 (55階)
北海道支社 〒064-8555 札幌市中央区北4条西23丁目1番18号
東北支社 〒982-0841 仙台市太白区向山4丁目20番14号
中部支社 〒462-0042 名古屋市北区水草町1丁目21番5号
関西支社 〒542-0081 大阪市中央区南船場2丁目3番2号南船場ハートビル (15階)
九州支社 〒814-0002 福岡市早良区西新一丁目10番27号西新プライムビル (6階)

電話 (03) 5958-8111 FAX (03) 5958-8113
電話 (011) 622-2230 FAX (011) 640-2383
電話 (022) 216-4181 FAX (022) 216-4188
電話 (052) 912-1111 FAX (052) 911-0117
電話 (06) 6266-8420 FAX (06) 6266-8430
電話 (092) 833-8721 FAX (092) 833-8722

